

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 2 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 21 年 7 月 22 日（水）13:15～15:30
2. 場 所：土木学会 F 会議室
3. 出席者：横田委員長，古市幹事長，斉藤幹事，島幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事（欠席者：杉浦副委員長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，武知幹事），岡田事務局
4. 配布資料

資料 幹 2-0	平成 21・22 年度 第 2 回幹事会議事次第
資料 幹 2-1	平成 21・22 年度 第 1 回幹事会議事録（案）
資料 幹 2-2	平成 21・22 年度 第 1 回委員会議事録（案）
資料 幹 2-3	平成 21 年度 委員会年間予定表
資料 幹 2-4-1	第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて
資料 幹 2-4-2	第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 全体スケジュール
資料 幹 2-4-3	第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 講演プログラム
資料 幹 2-5-0	小委員会一覧
資料 幹 2-5-1-1	複合構造標準示方書意見照会結果（委員会）
資料 幹 2-5-1-2	複合構造標準示方書意見照会結果（外部）
資料 幹 2-5-1-3	複合構造標準示方書出版・講習会までの工程
資料 幹 2-5-2	（欠 番）
資料 幹 2-5-3	FRP 複合橋梁小委員会と FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会の活動状況
資料 幹 2-5-4	（欠 番）
資料 幹 2-5-5	鋼・コンクリート複合構造の理論と設計＜改定版＞目次（案）
資料 幹 2-6	委員会活動度評価提出資料
資料 幹 2-7	出版関連報告
資料 幹 2-8	第 3 回幹事会について
5. 議事内容
 - (1) 委員長挨拶
幹事会開催にあたり，横田委員長より挨拶がなされた。
 - (2) 第 1 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 2-1）
古市幹事長より前回幹事会議事録案が読み上げられ，以下の語句修正を行うことで承認された。
・「5. 議事次第」→「5. 議事内容」
 - (3) 第 1 回委員会議事録案の確認（資料 幹 2-2）
斉藤幹事より前回委員会議事録案が読み上げられ，内容が確認された。
 - (4) 委員会年間予定表の確認（資料 幹 2-3）
古市幹事長より，年間予定表の更新内容について説明があった。主な更新内容は以下のとおり。
・幹事会開催日程
・複合構造標準示方書に関するスケジュール

- ・日米ワークショップの開催

(5) 第8回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて（資料 幹 2-4）

古市幹事長より、第8回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムの準備状況について報告がなされた。主な報告内容は以下のとおり。

- ・建築学会との調整の結果、土木学会側の特別講演は初日（11/5）に、建築学会側の特別講演は最終日（11/6）に開催することとなった。なお、土木学会側の特別講演は「ストーンカッターズ橋の設計と施工」をテーマとして前田建設の上田氏に講演を依頼した。
- ・建築学会より依頼のあった各セッションの司会者について、池田幹事、大山幹事、山口幹事に担当していただくこととした。また、特別講演の司会は古市幹事長が担当することとなった。
- ・建築学会よりシンポジウム前日（11/4）に現場見学会を開催する旨の連絡があった。対象構造物は純 RC 造の超高層集合住宅であり、合成構造ではないが、最新のプレキャスト工法を多用している構造であるため、土木学会側の方にも是非参加していただきたいとのことであった。

(6) 平成 21 年度年次学術講演会研究討論会について（資料なし）

溝江幹事より、平成 21 年度年次学術講演会研究討論会への参加の要請がなされた。

(7) 小委員会報告審議事項（資料 幹 2-5）

古市幹事長より、小委員会の活動に関して説明された後、各小委員会からの審議事項について協議が行われた。

複合構造標準示方書小委員会

田中幹事より、複合構造標準示方書の出版・講習会までのスケジュールと意見照会結果について説明があった。

- ・講習会の会告案内を土木学会誌 11 月号に掲載できるように、講習会参加費を決めるなどの準備を進める。なお、その場合の会告案内の原稿提出期限は平成 21 年 9 月 10 日（木）である。ただし、ホームページ上では開催日時（平成 21 年 12 月 17 日（木））だけでも早急に掲示する。
- ・頂戴した意見については工程上可能な限り対応し、出版後に頂戴した意見についてはホームページ上で随時コメントを掲示していく。
- ・緒方委員から寺田委員への交代について、メールにて委員会に諮る。

FRP 複合橋梁小委員会

西崎幹事より、FRP 複合橋梁小委員会の今後の活動予定について説明があった。

- ・明日（平成 21 年 7 月 23 日（木））開催予定のシンポジウムについて、事前申込みされた参加予定者数は 68 であり、収支上の問題はない。
- ・平成 21 年 7 月 29 日（水）に最終 WG を開催し、FRP 歩道橋設計ガイドライン原案の最終案について調整する予定である。

FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会

西崎幹事より、FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会の準備状況について説明があった。

- ・委員候補者全員から委員就任の内諾をいただいた。現在、委嘱状の発行手続きを進めている。
- ・8 月にガイドラインの原案を各委員に送付し、9 月に第 1 回小委員会を開催する予定である。

複合構造の理論と設計改訂小委員会

島幹事より、複合構造の理論と設計改訂小委員会の準備状況と目次案について説明があった。

- ・大山幹事の委員会幹事長就任、山口幹事ならびに葛西先生（名古屋大学）の小委員会委員就任について、メールにて委員会に諮る。
- ・作成する書籍は、複合構造の理論と複合構造標準示方書を結びつけるものとする。
- ・9A, 9B の担当委員会である構造工学委員会への対応方法ならびに作成する書籍の名称については時期を見て再度協議する。
- ・作成する書籍の位置付けを考慮し、本委員会名は「複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会」とする。

その他

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会と樹脂材料による複合技術研究小委員会の委員募集案内は土木学会誌8月号に掲載される。公募の締切は平成21年9月4日（金）であるため、中間報告ではあるが、次回幹事会にてその時点までの応募者数について報告する。

(8) 平成 20 年度委員会活動度評価について（資料 幹 2-6）

古市幹事長より、平成 20 年度委員会活動度評価について、学会より提出が要求されている評価項目Ⅲの記載内容について説明がなされた。協議の結果、平成 20 年度年次学術講演会での共通セッションならびに研究討論会の開催について追記し、学会へ提出することとなった。

(9) 委員会支援ツールの活用について（資料なし）

山口幹事より、土木学会より提供された委員会支援ツールについて説明がなされた。協議の結果、以下の理由から当面は従来どおりの方法で資料の配布を行うこととなった。

- ・幹事会資料についてはメーリングリストを活用した配布で問題は生じていない。
- ・委員会資料についてはホームページを活用した配布で問題は生じなかった。
- ・現時点では、支援ツールサイトにアクセスできるメンバー全員にファイルを操作する権限が与えられるため、ファイル管理上の問題が懸念される。

(10) 出版関連事項（資料 幹 2-7）

古市幹事長より、出版に関連した事項について説明があり、以下について準備を進めることとなった。

- ・複合構造標準示方書小委員会においては、9 月の原稿提出までに表紙デザインを出版事業課に提出できるようにする。
- ・維持管理小委員会においては、出版ならびに講習会に関する企画書あるいはこれに代わる方針を次回幹事会で示す。
- ・その他の小委員会においては、平成 22 年度に出版の計画がある場合、平成 21 年 9 月 25 日（金）までに出版企画書を出版事業課に提出する必要があるため、準備をする。

(11) 第 3 回幹事会について（資料 幹 2-8）

古市幹事長より、第 3 回幹事会の開催日時ならびに場所について説明があった。

- ・開催日時：平成 21 年 9 月 3 日（木）16:00～
- ・開催場所：鹿島建設株式会社九州支店
- ・集 合：年次学術講演会に参加される方は 15:10 までに複合構造委員会研究討論会会場へ
その他の方は直接鹿島建設の九州支店へ

(12) その他

- ・平成 21 年 8 月 6 日（木）開催予定の複合構造レポート 03「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価」を用いたマーケティング手法を用いた事業開発の基本に関する講習会について、委員会メンバーリストにて参加を呼びかけることとなった。
- ・今後作成する幹事会資料ならびに委員会資料について、ファイル名は以下のように統一することとなった。
 - ✓ファイル名の頭は例えば「幹 1-5」とし、これまで頭に付けていた「資料」は省略する。
 - ✓配布の不要なファイルの頭にはさらに「●」を付ける。

以上（記録・文責 溝江 慶久）